

資 料

神奈川県立生命の星・地球博物館に移管された
強羅公園箱根自然博物館旧蔵の淡水魚類標本目録A List of Specimens of Freshwater Fishes donated from the Hakone Museum of
Nature, Gora Park to the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History齋藤和久¹⁾・瀬能 宏²⁾Kazuhisa SAITOU¹⁾ & Hiroshi SENOU²⁾**Key words:** *Lethenteron reissneri*, *Tanakia lanceolata*, *Tachysurus tokiensis*, *Oryzias latipes*, extinct species

はじめに

強羅公園箱根自然博物館は、箱根町強羅にある強羅公園に併設された博物館であったが、1999年に同博物館のみは閉館された。同館旧蔵の標本（哺乳類 510 点、鳥類 108 点、魚類 736 点、昆虫類 779 点、ミヤマツチトリモチ *Balanophora nipponia* 1 点、植物腊葉標本 5,629 点）は、同館の閉館に伴い、1999 年 7 月 22 日付けで神奈川県立生命の星・地球博物館に移管された。これらの、標本には様々な保管状態のものが含まれていたが、そのほとんどに採集地や採集日などの基本情報を緻密に記したラベルが付されており、とりわけ淡水魚類標本の中には、酒匂川本流から採集されたと思われるスナヤツメ *Lethenteron*

reissneri、神奈川県レッドデータブック生物調査（以下、「県 RDB」）で絶滅種とされたヤリタナゴ *Tanakia lanceolata* の標本やかつては生息していたことを示す中村川のギバチ *Tachysurus tokiensis*、酒匂川右岸支流の在来系統と思われるミナミメダカ *Oryzias latipes* の標本、生物地理学的に興味深い箱根町芦之湯のホトケドジョウ *Lefua echigonia* の標本などが含まれていた。これらの標本は、県内淡水魚類相の生物地理学的比較検討を行ううえで貴重な証拠資料であるばかりでなく、環境復元の目標を設定する際の指標として、保全生物学的にも重要であると考えられる。そこで、淡水魚類標本の登録されたものについて、同定、標準体長の計測等を行い、目録を作成したので報告する。

¹⁾ 相模湾海洋生物研究会〒 233-0015 神奈川県横浜市港南区日限山 2-18-3
Sagami Bay Marine Biological Research Club
2-18-3 Higiriyama, Kounan-ku, Yokohama, Kanagawa
233-0015, Japan
saikazu@jcom.zaq.ne.jp²⁾ 神奈川県立生命の星・地球博物館〒 250-0031 神奈川県小田原市入生田 499
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History
499 Iryuda, Odawara, Kanagawa, 250-0031, Japan
senou@nh.kanagawa-museum.jp

材料および方法

目録作成は、種の同定、個体数と標準体長の計測を記録し、必要に応じ注釈を付け加えた。登録標本のうち、標本の状態が悪く同定までに至らなかったヨシノボリ属およびウキゴリ属の登録標本は除いた。なお、採集場所はオリジナルラベルの情報をそのまま記載した。種の同定、標準和名、学名および分類学的配列は、中坊編（2013）に従い、同定にあたっては沖山編（2014）を補足的に用いた。目録の記載は、神奈川県立生命の

Table 1. List of specimens of freshwater fishes donated from the Hakone Museum of Nature, Gora Park.

Order	Family	NO.	Species	Number of specimens
Petromyzontiformes	Petromyzontidae	1	<i>Lethenteron</i> sp. S	1
Anguilliformes	Anguillidae	2	<i>Anguilla japonica</i>	4
Cypriniformes	Cyprinidae	3	<i>Cyprinus carpio</i>	2
		4	<i>Carassius cuvieri</i>	4
		5	<i>Carassius</i> sp.	16
		6	<i>Tanakia lanceolata</i>	3
		7	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	3
		8	<i>Opsariichthys platypus</i>	26
		9	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	10
		10	<i>Tribolodon hakonensis</i>	27
		11	<i>Pseudorasbora parva</i>	4
		12	<i>Sarcocheilichthys variegatus microoculus</i>	11
		13	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	8
	Cobitidae	14	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	9
		15	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE Type C	4
		16	<i>Lefua echigonia</i>	3
Siluriformes	Bagridae	17	<i>Tachysurus tokiensis</i>	3
	Siluridae	18	<i>Silurus asotus</i>	1
Salmoniformes	Osmeridae	19	<i>Hypomesus nipponensis</i>	3
	Plecoglossidae	20	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	10
	Salmonidae	21	<i>Oncorhynchus mykiss</i>	5
		22	<i>Salmo trutta</i>	2
		23	<i>Salvelinus fontinalis</i>	3
		24	<i>Oncorhynchus nerka</i>	2
		25	<i>Oncorhynchus masou masou</i>	9
		26	<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>	4
Mugiliformes	Mugilidae	27	<i>Mugil cephalus cephalus</i>	1
Cyprinodontiformes	Poeciliidae	28	<i>Poecilia reticulata</i>	1
Beloniformes	Adrianichthyidae	29	<i>Oryzias latipes</i>	4
Perciformes	Lateolabracidae	30	<i>Lateolabrax japonicus</i>	1
	Centrarchidae	31	<i>Lepomis macrochirus macrochirus</i>	4
		32	<i>Micropterus salmoides</i>	13
	Cottidae	33	<i>Cottus kazika</i>	5
		34	<i>Cottus pollux</i>	7
	Gobiidae	35	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	5
		36	<i>Sicyopterus japonicus</i>	5
		37	<i>Tridentiger brevispinis</i>	16
		38	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	9
		39	<i>Rhinogobius</i> sp. CO	1
		40	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	2
		41	<i>Gymnogobius petschiliensis</i>	11
		42	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	1
			Total	263

星・地球博物館登録魚類資料 (KPM-NI): 個体数、標準体長 mm (複数の場合はその範囲)、採集場所、採集年月日、採集者とし、それぞれ不明の場合はその旨を記した。

湖 (静岡県) であった。箱根地方を主体にした県西部の河川で、山梨県および静岡県を含んでいた。

強羅公園箱根自然博物館旧蔵淡水魚類標本目録

強羅公園箱根自然博物館旧蔵淡水魚類標本

標本登録種名リストおよび標本登録件数を Table 1 に示した。登録されていた魚類標本のうち、淡水魚類 9 目 16 科 42 種、263 点を目録化した。

標本は、1951 年から 1981 年に採集されたもので、標本の採集場所は、酒匂川水系、相模川水系、早川水系、中村川水系、新崎川、大沢川、天王川 (愛知県)、芦ノ湖、山中湖 (山梨県)、一碧

ヤツメウナギ目 Petromyzontiformes

ヤツメウナギ科 Petromyzontidae

1 スナヤツメ (南方種) (Fig. 1)

Lethenteron sp. S

KPM-NI 6578: 1 個体、107.7 mm SL、酒匂川、採集年月日不明、採集者不明。

これまで酒匂川からの記録は、支流の一部水域のみで (石原ほか, 1986)、本流からの記録はな

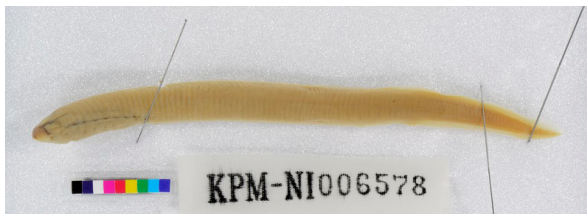


Fig.1. *Lethenteron* sp. S, KPM-NI 6578, 107.7 mm SL, Sakawa River.

い。標本の採集場所は、酒匂川と記載されており、本流から採集されたものとすればきわめて貴重な記録といえる。

スナヤツメ *Lethenteron reissneri* は、遺伝的に十分に分化した2種（北方種、南方種）が含まれているが、学名の整理等が未解決で、また、両種の形態形質による識別は困難とされているため（中坊・甲斐, 2013）、本種は、分布地域の相違によりスナヤツメ（南方種）*Lethenteron* sp. Sとした。

従来のスナヤツメは県 RDB では、絶滅危惧 IB 類とされ（勝呂・瀬能, 2006）、最近では酒匂川水系と相模川水系の限られた場所でのみ記録されている（神奈川県環境科学センター, 2014）。

ウナギ目 Anguilliformes

ウナギ科 Anguillidae

2 ニホンウナギ

Anguilla japonica Temminck & Schlegel, 1847

KPM-NI 6571: 1 個体、345.0 mm SL、酒匂川水系狩川支流洞川、採集年月日不明、桐山量介・田代道彌採集；KPM-NI 6572: 1 個体、406.0 mm SL、酒匂川水系狩川支流洞川、採集年月日不明、桐山量介・田代道彌採集；KPM-NI 6573: 1 個体、367.0 mm SL、酒匂川水系狩川支流洞川、採集年月日不明、桐山量介・田代道彌採集；KPM-NI 6591: 1 個体、374.0 mm SL、早川、1958 年 7 月 10 日、田代道彌採集。

これまでの標準和名の「ウナギ *Anguilla japonica*」がヨーロッパウナギ *Anguilla anguilla* などの他のウナギ属 *Anguilla* 魚類との混乱を避けるために「ニホンウナギ」と改名された（塚本ほか, 2010）。

コイ目 Cypriniformes

コイ科 Cyprinidae

3 コイ

Cyprinus carpio Linnaeus, 1758

KPM-NI 6607: 1 個体、247.7 mm SL、御殿場市、1958 年 6 月 26 日、採集年月日不明、採集者不明；KPM-NI 38509: 1 個体、78.4 mm SL、酒匂川、1972 年 9 月 20 日、田代道彌・八田洋章採集。

本種には日本在来の系統（在来型）と国外から

導入された系統（外来型）があり、DNA の分析では両者には明瞭な差のあることがわかってきた（Mabuchi *et al.*, 2005, 2008）。しかし、これまで県内ではこれら 2 系統に関して調査が行われたことはなく、本標本がどちらの系統に属するかは、外部形態上の精査が必要と考えられる。このため、県 RDB では、情報不足とされている（勝呂・瀬能, 2006）。

4 ゲンゴロウブナ

Carassius cuvieri Temminck & Schlegel, 1846

KPM-NI 6504: 1 個体、179.3 mm SL、芦ノ湖、1968 年 3 月 28 日、箱根町支庁松井採集；KPM-NI 6505: 1 個体、180.2 mm SL、芦ノ湖、1968 年 3 月 28 日、箱根町支庁松井採集；KPM-NI 6506: 1 個体、185.5 mm SL、芦ノ湖、1968 年 3 月 28 日、箱根町支庁松井採集；KPM-NI 6507: 1 個体、184.4 mm SL、芦ノ湖、1968 年 3 月 28 日、箱根町支庁松井採集。

標本は、すべて芦ノ湖からのもので、同湖では過去から放流が行われてきた（石原ほか, 1986）。

5 ギンブナ

Carassius sp.

KPM-NI 6411: 11 個体、45.1-85.7 mm SL、酒匂川水系狩川支流仙了川、1972 年 10 月 14 日、桐山量介・田代道彌採集；KPM-NI 6412: 5 個体、25.8-84.5 mm SL、酒匂川水系狩川酒匂川合流点、1972 年 7 月 14 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6413: 1 個体、68.4 mm SL、酒匂川水系狩川支流要定川（用定川）、1972 年 7 月 27 日、田代道彌採集；KPM-NI 6414: 2 個体、34.1-72.1 mm SL、酒匂川水系狩川、1972 年 9 月 12 日、田代道彌採集；KPM-NI 6415: 2 個体、72.8-83.0 mm SL、酒匂川支流明治製菓横細流、1972 年 9 月 20 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6416: 3 個体、65.5-80.9 mm SL、酒匂川、1972 年 9 月 20 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6417: 16 個体、26.9-67.0 mm SL、小田原市、1972 年 7 月 20 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6418: 2 個体、39.8-46.4 mm SL、中村川、1972 年 7 月 20 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6419: 17 個体、45.6-96.4 mm SL、酒匂川水系飯泉用水路、1972 年 10 月 14 日、桐山量介・田代道彌採集；KPM-NI 6487: 1 個体、113.1 mm SL、酒匂川、1958 年 4 月 29 日、採集者不明；KPM-NI 6488: 1 個体、123.1 mm SL、酒匂川、1958 年 4 月 29 日、採集者不明；KPM-NI 6531: 3 個体、25.0-31.9 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明；KPM-NI 6532: 2 個体、41.1-42.1 mm SL、酒匂川水系狩川支流仙了川、1969 年 8 月 14 日、採集者不明；KPM-NI 6533: 12 個体、20.0-36.7 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明；KPM-NI 6565: 1 個体、32.0 mm SL、中村川河口、1974 年 9 月、石塚勝治採集；KPM-NI 6567: 1 個体、15.8 mm SL、中村川河口、1974 年 9 月、石塚勝治採集。



Fig.2. *Tanakia lanceolata*, KPM-NI 6557 63.3-70.8 mm SL, Sakawa River.

6 ヤリタナゴ (Fig. 2)

Tanakia lanceolata (Temminck & Schlegel, 1846)

KPM-NI 6407: 1 個体、55.8 mm SL、小田原市、1970 年 7 月 20 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6557: 4 個体、63.3-70.8 mm SL、酒匂川、採集年月日不明、採集者不明；KPM-NI 6604: 1 個体、63.4 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明。

かつて県内の多摩川、相模川および酒匂川に生息していたが、県 RDB では、絶滅とされている(勝呂・瀬能, 2006)。本標本の採集年月日から、1970 年までは生息していたと推測される。

7 タイリクバラタナゴ

Rhodeus ocellatus ocellatus (Kner, 1866)

KPM-NI 6408: 3 個体、44.4-48.2 mm SL、山中湖、1972 年 8 月 14 日、鈴木幸守採集；KPM-NI 6409: 3 個体、39.8-48.1 mm SL、天王川付近、1972 年 8 月 14 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6410: 5 個体、38.7-48.0 mm SL、山中湖、1972 年 8 月 14 日、鈴木幸守採集。

8 オイカワ

Opsariichthys platypus (Temminck & Schlegel, 1846)

KPM-NI 6373: 1 個体、58.8 mm SL、酒匂川常光沢(定光沢)合流地点上流、1972 年 9 月 28 日、田代道彌採集；KPM-NI 6374: 1 個体、82.3 mm SL、酒匂川水系狩川酒匂川合流点上流、1972 年 7 月 14 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6375: 1 個体、82.3 mm SL、酒匂川支流、1972 年 9 月 20 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6376: 6 個体、53.8-94.6 mm SL、小田原市、1972 年 7 月 20 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6377: 3 個体、93.6-95.6 mm SL、酒匂川水系狩川炭焼所、1972 年 9 月 7 日、田代道彌採集；KPM-NI 6378: 1 個体、102.8 mm SL、酒匂川支流、1972 年 7 月 2 日、田代道彌採集；KPM-NI 6379: 17 個体、70.6-105.5 mm SL、酒匂川水系飯泉用水路、1972 年 10 月 14 日、桐山量介・田代道彌採集；KPM-NI 6380: 7 個体、82.0-112.5 mm SL、酒匂川水系狩川

支流仙了川、1972 年 10 月 14 日、桐山量介・田代道彌採集；KPM-NI 6381: 13 個体、51.3-108.1 mm SL、酒匂川水系狩川支流要定川(用定川)、1972 年 7 月 27 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6492: 1 個体、101.4 mm SL、足柄下郡箱根町芦ノ湖恩賜公園(離宮)東岸、1967 年 8 月 13 日、採集者不明；KPM-NI 6493: 1 個体、106.1 mm SL、足柄下郡箱根町芦ノ湖林家前、1967 年 8 月 13 日、採集者不明；KPM-NI 6522: 45 個体、37.0-106.8 mm SL、芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、箱根博物館採集；KPM-NI 6523: 20 個体、89.1-117.3 mm SL、芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、箱根博物館採集；KPM-NI 6526: 1 個体、114.2 mm SL、芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、採集者不明；KPM-NI 6527: 1 個体、107.9 mm SL、芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、採集者不明；KPM-NI 6528: 1 個体、103.8 mm SL、芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、採集者不明；KPM-NI 6529: 1 個体、113.3 mm SL、芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、採集者不明；KPM-NI 6530: 1 個体、74.0 mm SL、酒匂川カネボウ小田原工場前、1969 年 7 月 21 日、杉本・井上・種村・鈴木・近藤採集；KPM-NI 6550: 3 個体、55.7-75.0 mm SL、小田原市、1970 年 7 月 15 日、田代道彌採集；KPM-NI 6576: 4 個体、7.4-13.9 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明；KPM-NI 6596: 1 個体、80.4 mm SL、足柄下郡箱根町芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、採集者不明；KPM-NI 6597: 1 個体、103.7 mm SL、足柄下郡箱根町芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、採集者不明；KPM-NI 6598: 1 個体、83.9 mm SL、足柄下郡箱根町芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、採集者不明；KPM-NI 6599: 1 個体、92.3 mm SL、足柄下郡箱根町芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、採集者不明；KPM-NI 6600: 1 個体、79.8 mm SL、足柄下郡箱根町芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、採集者不明；KPM-NI 6606: 3 個体、88.5-96.0 mm SL、酒匂川、採集年月日不明、採集者不明。

採集地が判明しているものは、酒匂川水系と芦ノ湖のみで、アユ *Plecoglossus altivelis altivelis* などの種苗に混じって入ってきたとされる(石原ほか, 1986)。

9 アブラハヤ

Phoxinus lagowskii steindachneri Sauvage, 1883

KPM-NI 6396: 1 個体、105.5 mm SL、中村川、1972 年 7 月 20 日、八田洋章採集；KPM-NI 6397: 6 個体、43.9-91.1 mm SL、中村川旧足柄下郡橋町、1972 年 7 月 14 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6398: 2 個体、82.0-82.5 mm SL、酒匂川水系鮎沢川、1972 年 8 月 30 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6399: 4 個体、52.7-85.8 mm SL、酒匂川水系鮎沢川、1972 年 8 月 28 日、田代道彌採集；KPM-NI 6400: 2 個体、57.2-70.4 mm SL、酒匂川水系狩川上流、1972 年 8 月 30 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6401: 1 個体、76.7 mm SL、酒匂川水系狩川上総川合流点 300 m 上流、1972 年 9 月 7 日、田代道彌採集；KPM-NI 6402: 2 個体、78.5-87.4 mm SL、中村川水系岩倉川、1972 年 7 月 27 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6404: 11 個体、

60.0–74.5 mm SL、酒匂川水系狩川支流要定川（用定川）、1972年7月27日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6436: 1個体、26.4 mm SL、酒匂川水系狩川酒匂川合流点、1972年7月14日、田代道彌採集；KPM-NI 6549: 1個体、71.1 mm SL、酒匂川水系狩川、1970年8月17日、旭丘高等学校生物部採集。

標本は、酒匂川水系と中村川水系のものである。中村川のは、田代・八田（1974）で報告されている。本種は、県RDBでは準絶滅危惧とされている（勝呂・瀬能, 2006）。

10 ウグイ

Tribolodon hakonensis (Günther, 1877)

KPM-NI 6384: 1個体、144.9 mm SL、酒匂川水系狩川酒匂川合流点上流、1972年7月14日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6385: 1個体、104.7 mm SL、酒匂川水系狩川酒匂川合流地点、1972年7月14日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6386: 1個体、113.7 mm SL、酒匂川支流富士道橋（富士見橋）脇地蔵堂下、1972年9月20日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6387: 1個体、71.2 mm SL、酒匂川支流富士道橋（富士見橋）脇地蔵堂下、1972年9月20日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6388: 1個体、123.5 mm SL、酒匂川支流富士道橋（富士見橋）脇池蔵堂下、1972年9月20日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6389: 1個体、96.0 mm SL、酒匂川河口、1972年8月5日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6390: 1個体、134.4 mm SL、酒匂川水系狩川上総川合流点上流、1972年9月7日、田代道彌採集；KPM-NI 6391: 1個体、131.3 mm SL、酒匂川水系狩川上総川合流点上流、1972年9月7日、田代道彌採集；KPM-NI 6392: 1個体、127.5 mm SL、酒匂川、1972年8月30日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6393: 1個体、75.0 mm SL、酒匂川、1972年8月30日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6394: 3個体、75.1–99.5 mm SL、酒匂川小田原線橋梁下、1972年9月28日、田代道彌採集；KPM-NI 6395: 2個体、88.3–100.1 mm SL、酒匂川常光沢（定光沢）合流地点上流、1972年9月28日、田代道彌採集；KPM-NI 6420: 2個体、113.6–134.7 mm SL、中村川河口、1972年8月5日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6473: 1個体、96.8 mm SL、酒匂川水系河内川支流中川川中川大仏、1972年10月12日、雁丸明仁採集；KPM-NI 6477: 1個体、143.0 mm SL、足柄上郡山北町玄倉発電所堰堤、1972年10月8日、菅野武採集；KPM-NI 6478: 1個体、142.6 mm SL、足柄上郡山北町玄倉発電所堰堤、1972年10月8日、菅野武採集；KPM-NI 6479: 1個体、130.4 mm SL、足柄上郡山北町玄倉発電所堰堤、1972年10月8日、菅野武採集；KPM-NI 6481: 1個体、133.3 mm SL、酒匂川水系河内川支流中川川大仏部落の運動場そば、1972年9月5日、豊田里已採集；KPM-NI 6482: 1個体、130.3 mm SL、酒匂川水系河内川支流中川川大仏部落の運動場そば、1972年9月5日、豊田里已採集；KPM-NI 6483: 1個体、151.2 mm SL、酒匂川水系河内川支流中川川

大仏部落の運動場そば、1972年9月5日、豊田里已採集；KPM-NI 6486: 1個体、184.5 mm SL、酒匂川、1957年5月、市橋採集；KPM-NI 6519: 1個体、115.6 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集；KPM-NI 6520: 1個体、81.1 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集；KPM-NI 6562: 2個体、93.5–116.0 mm SL、中村川河口、1974年9月、石塚勝治採集；KPM-NI 6574: 1個体、138.4 mm SL、酒匂川水系狩川駒千代橋、1974年11月3日、渡辺倫行採集；KPM-NI 6611: 1個体、261.0 mm SL、芦ノ湖湖尻、1970年5月9日、鈴木幸守採集；KPM-NI 38588: 2個体、47.6–49.9 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明。

標本の採集地が判明しているものは、酒匂川水系、中村川水系および芦ノ湖であった。このうち酒匂川水系のものの中には、三保ダム完成前の河川で採集されたものがあり、貴重な資料といえよう。なお、中村川水系の一部の標本は、田代・八田（1974）にも記載されている。本種は、県RDBでは準絶滅危惧とされている（勝呂・瀬能, 2006）。

11 モツゴ

Pseudorasbora parva (Temminck & Schlegel, 1846)

KPM-NI 6405: 2個体、42.0–46 mm SL、中村川旧足柄下郡橋町、1972年7月14日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6406: 4個体、42.5–78.7 mm SL、天王川付近、1972年8月14日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6475: 3個体、38.2–77.3 mm SL、押切川下流（中村川）、1958年8月、石塚勝治採集；KPM-NI 6566: 1個体、19.6 mm SL、中村川河口、1974年9月、石塚勝治採集。

標本は、県外の天王川（愛知県）を除くと、中村川水系だけで一部標本は、田代・八田（1974）で報告されている。

12 ビワヒガイ

Sarcocheilichthys variegatus microoculus Mori, 1927

KPM-NI 6500: 1個体、115.6 mm SL、芦ノ湖恩賜公園（離宮）東岸、1967年8月13日、採集者不明；KPM-NI 6510: 1個体、110.5 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集；KPM-NI 6511: 1個体、135.8 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集；KPM-NI 6512: 1個体、125.4 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集；KPM-NI 6513: 1個体、125.0 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集；KPM-NI 6514: 1個体、119.2 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集；KPM-NI 6515: 1個体、124.5 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集；KPM-NI 6516: 1個体、135.2 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集；

KPM-NI 6517: 1 個体、132.2 mm SL、芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、箱根博物会採集；KPM-NI 6518: 1 個体、113.2 mm SL、芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、箱根博物会採集；KPM-NI 6521: 1 個体、69.4 mm SL、芦ノ湖、1968 年 7 月 23 日、箱根博物会採集。

標本にはヒガイ *Sarcocheilichthys variegatus* と記述されていたが、再同定の結果、ビワヒガイ *Sarcocheilichthys variegatus microoculus* と同定された。すべての標本の採集場所は、芦ノ湖とされるが、導入の経緯は不明である（石原ほか、1986）。最近は、相模川からの記録がみられる（神奈川県環境科学センター、2014）。

13 タモロコ

Gnathopogon elongatus elongatus (Temminck & Schlegel, 1846)

KPM-NI 6382: 1 個体、54.8–64.0 mm SL、酒匂川水系狩川酒匂川合流点、1972 年 8 月 15 日、田代道彌採集；KPM-NI 6383: 12 個体、43.2–64.1 mm SL、酒匂川水系狩川支流要定川（用定川）、1972 年 7 月 27 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6403: 29 個体、37.7–82.0 mm SL、酒匂川支流明治製菓横細流、1972 年 9 月 20 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6476: 1 個体、64.0 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明；KPM-NI 6580: 22 個体、23.6–44.9 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明；KPM-NI 6617: 3 個体、28.7–30.6 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明；KPM-NI 38531: 1 個体、47.9 mm SL、小田原市、1970 年 7 月 15 日、田代道彌採集；KPM-NI 38586: 2 個体、21.6–27.8 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明。

ドジョウ科 Cobitidae

14 ドジョウ

Misgurnus anguillicaudatus (Cantor, 1842)

KPM-NI 6421: 2 個体、55.1–106.1 mm SL、中村川河口旧足柄下郡橋町、1972 年 8 月 5 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6422: 9 個体、84.0–124.3 mm SL、酒匂川水系狩川支流要定川（用定川）、1972 年 7 月 27 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6426: 1 個体、76.2–113.2 mm SL、中村川旧足柄下郡橋町、1972 年 7 月 14 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6427: 1 個体、82.4 mm SL、酒匂川支流明治製菓横細流、1972 年 9 月 20 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6428: 2 個体、34.8–126.6 mm SL、中村川旧足柄下郡橋町、1972 年 7 月 20 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6432: 1 個体、148.0 mm SL、足柄下郡箱根町、1972 年 7 月 15 日、新保孝一採集；KPM-NI 6588: 1 個体、124.8 mm SL、酒匂川水系狩川支流仙了川、採集年月日不明、桐山量介採集；KPM-NI 6589: 1 個体、125.7 mm SL、酒匂川水系狩川支流仙了川、採集年月日不明、桐山量介採集；KPM-NI 6590: 1 個体、117.3 mm SL、酒匂川水系狩川支流仙了川、採集年月日不明、桐山量介採集。



Fig.3. *Lefua echigonia*, KPM-NI 6582 21.0–22.0 mm SL, Ashinoyu, Hakone-machi, Ashigarashimo-gun.

15 ヒガシシマドジョウ

Cobitis sp. BIWAE type C

KPM-NI 6423: 1 個体、58.0 mm SL、酒匂川水系狩川酒匂川合流点、1972 年 7 月 14 日、田代道彌採集；KPM-NI 6424: 1 個体、61.4 mm SL、酒匂川水系狩川支流要定川（用定川）、1972 年 7 月 27 日、田代道彌採集；KPM-NI 6425: 1 個体、52.0 mm SL、酒匂川水系狩川炭焼所、1972 年 9 月 12 日、田代道彌採集；KPM-NI 6429: 1 個体、72.3 mm SL、早川、1972 年 8 月 8 日、田代道彌採集。

本種は、従来シマドジョウ *Cobitis biwae* 東日本グループとされていたが、新たな標準と名が提唱されたので（中島ほか、2012）、それに従いヒガシシマドジョウ *Cobitis* sp. BIWAE type C とした。本種は分布域の減少から、県 RDB では準絶滅危惧とされている（勝呂・瀬能、2006）。

16 ホトケドジョウ (Fig. 3)

Lefua echigonia Jordan & Richardson, 1907

KPM-NI 6556: 19 個体、28.1–46.8 mm SL、南足柄市城山南麓、1974 年 4 月 4 日、黒木俊郎採集；KPM-NI 6582: 2 個体、21.0–22.0 mm SL、足柄下郡箱根町芦之湯、1979 年 9 月 7 日、採集者不明；KPM-NI 38587: 1 個体、28.1 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明。

標本は、南足柄市と箱根町からのもので、箱根町からは、芦之湯の細流からの記録があるのみで（石原ほか、1986）、箱根山麓の細流にも生息していたことを示す貴重な標本である。本種は、県 RDB では絶滅危惧 I B 類とされている（勝呂・瀬能、2006）。

ナマズ目 Siluriformes

ギギ科 Bagridae

17 ギバチ (Fig. 4)

Tachysurus tokiensis (Döderlein, 1887)

KPM-NI 6484: 1 個体、122.4 mm SL、足柄上郡中

井町、1951年5月21日、久保田政雄採集；KPM-NI 6485: 1個体、107.7 mm SL、足柄上郡中井町、1951年5月21日、久保田政雄採集；KPM-NI 6586: 1個体、142.3 mm SL、中村川河口、採集年月日不明、石塚勝治採集。

標本の採集場所は、足柄上郡中井町と中村川であった。田代・八田(1974)には、中井町で久保田政雄氏が採集した2個体が記述されている。中井町には、中村川と葛川の2河川が流れているが、1951年中井町採集の標本は、田代・八田(1974)は中村川と記述している。

ギバチは、県内での生息場所は限られており、県RDBでは絶滅危惧ⅠA類とされている(勝呂・瀬能, 2006)。現在では中村川からの記録はなく(神奈川県環境科学センター, 2014)、かつて生息していた証拠となる貴重な標本といえる。

ナマズ科 Siluridae

18 ナマズ

Silurus asotus Linnaeus, 1758

KPM-NI 6570: 1個体、360.0 mm SL、酒匂川水系狩川支流洞川、採集年月日不明、桐山量介・田代道彌採集。

本種は、県RDBでは注目種とされている(勝呂・瀬能, 2006)。

サケ目 Salmoniformes

キュウリウオ科 Osmeridae

19 ワカサギ

Hypomesus nipponensis McAllister, 1963

KPM-NI 6524: 1個体、79.4 mm SL、芦ノ湖白浜、1967年8月13日、採集者不明；KPM-NI 6525: 4個体、84.4-101.1 mm SL、芦ノ湖白浜伊豆箱根船着場、1968年4月21日、採集者不明；KPM-NI 6583: 3個体、91.9-99.1 mm SL、芦ノ湖、採集年月日不明、採集者不明。

アユ科 Plecoglossidae

20 アユ

Plecoglossus altivelis altivelis (Temminck & Schlegel, 1846)

KPM-NI 6367: 1個体、102.0 mm SL、酒匂川水系狩川支流要定川(用定川)、1972年7月27日、八田洋章採集；KPM-NI 6368: 1個体、95.9 mm SL、酒匂川常光沢(定光沢)合流地点上流、1972年9月28日、田代道彌採集；KPM-NI 6369: 1個体、136.3 mm SL、酒匂川水系狩川酒匂川合流点上流、1972年7月14日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6370: 1個体、122.9 mm SL、酒匂川水系飯泉用水路、1972年10月14日、桐山量介・田代道彌採集；KPM-NI 6371: 1個体、115.1 mm SL、酒匂川水系飯泉用水路、1972年10月14日、桐山量介・田代道彌採集；KPM-NI 6372:



Fig.4. *Tachysurus tokiensis*, KPM-NI 6586 142.3 mm SL, Nakamura River.

1個体、96.5 mm SL、酒匂川水系飯泉用水路、1972年10月14日、桐山量介・田代道彌採集；KPM-NI 6579: 4個体、123.0-137.0 mm SL、酒匂川水系狩川支流仙了川、1972年10月14日、桐山量介・田代道彌採集；KPM-NI 6587: 1個体、137.3 mm SL、酒匂川飯泉橋、1976年6月2日、加藤利之採集；KPM-NI 6601: 1個体、167.7 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明；KPM-NI 6602: 1個体、168.9 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明。

サケ科 Salmonidae

21 ニジマス

Oncorhynchus mykiss (Walbaum, 1792)

KPM-NI 6614: 1個体、272.0 mm SL、御殿場市、1958年6月26日、採集者不明；KPM-NI 6615: 1個体、192.3 mm SL、御殿場市、1958年6月26日、採集者不明；KPM-NI 6616: 1個体、237.0 mm SL、御殿場市、1958年6月26日、採集者不明；KPM-NI 6623: 1個体、368.0 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明；KPM-NI 6625: 1個体、109.3 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明。

22 ブラウントラウト

Salmo trutta Linnaeus, 1758

KPM-NI 6608: 1個体、316.0 mm SL、早川、1979年4月4日、鈴木国松採集；KPM-NI 6612: 1個体、257.0 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明。

本種は、1972年に芦ノ湖に導入された(石原ほか, 1986)。

23 カワマス

Salvelinus fontinalis (Mitchill, 1814)

KPM-NI 6610: 1個体、264.0 mm SL、採集地不明、1954年9月4日、採集者不明；KPM-NI 6622: 1個体、147.7 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明；KPM-NI 6491: 1個体、181.0 mm SL、採集地不明、1958年4月29日、採集者不明。

すべて採集地は不明であるが、県内では1928年に芦ノ湖に稚魚が放流されていた（橘川、1995）。

24 ヒメマス

Oncorhynchus nerka (Walbaum, 1792)

KPM-NI 6508: 1個体、211.5 mm SL、芦ノ湖、1968年3月28日、箱根町庁箱根支所採集；KPM-NI 6509: 1個体、173.6 mm SL、芦ノ湖、1968年3月28日、箱根町庁箱根支所採集。

ベニザケ *Oncorhynchus nerka* の陸封型で、1909年に十和田湖産のものが初めて芦ノ湖に放流された（石原ほか、1986）。

25 サクラマス（ヤマメ）

Oncorhynchus masou masou (Brevoort, 1856)

KPM-NI 6366: 1個体、124.8 mm SL、新崎川幕山下、1972年10月30日、堂畑政春採集；KPM-NI 6554: 1個体、149.9 mm SL、新崎川、1973年2月7日、堂畑政春採集；KPM-NI 6592: 1個体、153.8 mm SL、足柄下郡箱根町、採集年月日不明、旧旭丘高等学校採集；KPM-NI 6593: 1個体、158.0 mm SL、足柄下郡箱根町、採集年月日不明、旧旭丘高等学校採集；KPM-NI 6594: 1個体、130.2 mm SL、足柄下郡箱根町、採集年月日不明、旧旭丘高等学校採集；KPM-NI 6595: 1個体、132.2 mm SL、足柄下郡箱根町、採集年月日不明、旧旭丘高等学校採集；KPM-NI 6609: 1個体、281.0 mm SL、早川、1955年、採集者不明；KPM-NI 6613: 1個体、292.0 mm SL、芦ノ湖、1953年10月21日、採集者不明；KPM-NI 6624: 1個体、286.0 mm SL、芦ノ湖、1953年10月21日、採集者不明。

標本の採集場所は、新崎川、箱根町、早川および芦ノ湖である。大島（1957）によれば、亜種のアマゴ *Oncorhynchus masou ishikawae* とは本州太平洋岸における分布境界が酒匂川付近にあるとしており、鮎沢川水系にアマゴが分布し、河内川等の酒匂川の支流にはヤマメ *Oncorhynchus masou masou* が分布するとしている。しかし、標本の河川等の分布とは一致しておらず、標本採集時には、すでに放流による分布のかく乱が起こっていたと考えられる。なお、本種の在来個体群は、県RDBでは絶滅危惧ⅠA類とされている（勝呂・瀬能、2006）。

26 アマゴ

Oncorhynchus masou ishikawae Jordan & McGregor, 1925

KPM-NI 6544: 1個体、220.0 mm SL、早川水系須雲川、1970年5月14日、鈴木幸守採集；KPM-NI 6545: 1個体、177.1 mm SL、早川、1970年4月15日、勝俣潔美採集；KPM-NI 6552: 1個体、179.0 mm SL、大沢川（狩野川水系もしくは鮎沢川水系のいずれか）、

1973年4月18日、堂畑政春採集；KPM-NI 6553: 1個体、139.5 mm SL、三島市、1973年2月7日、堂畑政春採集。

標本の採集場所は、早川水系須雲川、早川、大沢川（狩野川水系もしくは鮎沢川水系のいずれか）および三島市である。1970年代には、酒匂川の河内川支流ではヤマメと中間型、狩川と世附川ではヤマメ、新崎川でヤマメ、アマゴおよび中間型が出現している（斉藤、1982）。また、早川水系ではヤマメが在来亜種という報告もある（鈴木、1991）。なお、本種の在来個体群は、県RDBでは絶滅危惧ⅠA類とされている（勝呂・瀬能、2006）。

ボラ目 Mugiliformes

ボラ科 Mugilidae

27 ボラ

Mugil cephalus cephalus Linnaeus, 1758

KPM-NI 6577: 1個体、145.0 mm SL、酒匂川、採集年月日不明、採集者不明。

カダヤシ目 Cyprinodontiformes

カダヤシ科 Poeciliidae

28 グッピー

Poecilia reticulata Peters, 1859

KPM-NI 6605: 7個体、19.1–34.0 mm SL、酒匂平野、採集年月日不明、採集者不明。

標本の詳細な採集地は不明であるが、これまで狩川の支流から記録されている（石原ほか、1986；黒崎、1982；齋藤、2005）。

ダツ目 Beloniformes

メダカ科 Adrianichthyidae

29 ミナミメダカ (Fig. 5 & 6)

Oryzias latipes (Temminck & Schlegel, 1846)

KPM-NI 6430: 6個体、22.1–26.4 mm SL、酒匂川支流明治製菓横細流（小田原市中曽根）、1972年9月17日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6431: 13個体、24.0–32.4 mm SL、酒匂川水系狩川酒匂川合流点、1972年7月14日、田代道彌採集；KPM-NI 6568: 6個体、15.0–16.6 mm SL、中村川河口、1974年9月、石塚勝治採集；KPM-NI 6581: 1個体、26.7 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明。

従来のメダカは、ミナミメダカとキタノメダカ *Oryzias sakaizumii* とされ（瀬能、2013）、標本は、ミナミメダカと同定された。そのなかでも採集された時代背景を考慮して東日本型とした。標本の採集場所は、酒匂川水系右岸側の支流と中村川である。酒匂川水系には、在来ミナミメダカの貴重な生息地があり（瀬能、2003）、貴重な標本といえる。また、中村川に生息していた証拠となる貴



Fig.5. *Oryzias latipes*, KPM-NI 6430 22.1-26.4 mm SL, branch of Sakawa River (Nakasone Odawara).



Fig.6. *Oryzias latipes*, KPM-NI 6568 15.0-16.6 mm SL, estuary of Nakamura River.

重な標本である。なお、本種の在来個体群は、県RDBでは絶滅危惧ⅠA類とされている（勝呂・瀬能, 2006）。

スズキ目 Perciformes

スズキ科 Lateolabracidae

30 スズキ

Lateolabrax japonicus (Cuvier, 1828)

KPM-NI 6546: 1個体、124.6 mm SL、酒匂川、採集年月日不明、採集者不明。

サンフィッシュ科 Centrarchidae

31 ブルーギル

Lepomis macrochirus macrochirus Rafinesque, 1819

KPM-NI 6434: 1個体、104.5 mm SL、一碧湖、1972年8月7日、鈴木幸守採集； KPM-NI 6435: 1個体、103.0 mm SL、一碧湖、1972年8月7日、鈴木幸守採集； KPM-NI 6437: 3個体、24.8-55.8 mm SL、一碧湖、1972年8月7日、鈴木幸守採集； KPM-NI 6603: 1個体、146.4 mm SL、一碧湖、1972年8月7日、鈴木幸守採集。

標本は、すべて伊豆半島の一碧湖のものであった。日本へは1960年に持ち込まれ、自然水域への導入は、1966年に静岡県伊東市の一碧湖への放流が初めてされているが、これに先立ち、徳島、高知、宮崎の3県のダム湖に放流されていた（瀬能, 2008）。

32 オオクチバス

Micropterus salmoides (Lacepède, 1802)

KPM-NI 6433: 1個体、245.0 mm SL、芦ノ湖、1972年8月16日、鈴木幸守採集； KPM-NI 6534: 1個体、89.3 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集； KPM-NI 6535: 1個体、89.7 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集； KPM-NI 6536: 1個体、83.9 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根

博物館採集； KPM-NI 6537: 1個体、192.0 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集； KPM-NI 6538: 1個体、113.4 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集； KPM-NI 6539: 1個体、101.6 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集； KPM-NI 6540: 1個体、116.6 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集； KPM-NI 6541: 1個体、108.5 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集； KPM-NI 6542: 1個体、110.5 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集； KPM-NI 6543: 1個体、89.9 mm SL、芦ノ湖、1968年7月23日、箱根博物館採集； KPM-NI 6551: 1個体、204.0 mm SL、芦ノ湖、1971年7月20日、八田洋章採集； KPM-NI 6569: 1個体、159.8 mm SL、酒匂川、1958年7月2日、勝俣光男採集。

採集地は芦ノ湖がほとんどで、1個体のみ酒匂川から記録されていた。

カジカ科 Cottidae

33 カマキリ

Cottus kazika Jordan & Starks, 1904

KPM-NI 6498: 1個体、40.8 mm SL、酒匂川下流、1958年6月30日、採集者不明； KPM-NI 6559: 1個体、192.0 mm SL、伊東市、1975年12月3日、落合勝満採集； KPM-NI 6560: 1個体、206.0 mm SL、伊東市、1975年12月3日、落合勝満採集； KPM-NI 6561: 1個体、166.0 mm SL、伊東市、1975年12月3日、落合勝満採集； KPM-NI 6584: 1個体、48.4 mm SL、採集地不明、採集年月日不明、採集者不明。

過去、県内では相模川水系、酒匂川水系などに分布していたが、堰の影響や水質の悪化などにより著しく減少していた（勝呂, 1996）。このため、県RDBでは絶滅危惧ⅠA類とされている（勝呂・瀬能, 2006）。酒匂川の標本は過去の貴重な資料と考えられる。最近では、県央部から県西部の河川で記録された（神奈川県環境科学センター, 2014）。

34 カジカ

Cottus pollux Günther, 1873

KPM-NI 6457: 1 個体、57.8 mm SL、酒匂川水系狩川上流、1972 年 8 月 30 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6465: 3 個体、61.4–64.0 mm SL、酒匂川水系河内川支流中川川中川大仏玄倉へ通じる流失した橋の上、1972 年 10 月 12 日、池谷明芳・佐藤淳・雁丸明仁・諸星勝彦・石渡晃司・片岡勇採集；KPM-NI 6470: 1 個体、92.7 mm SL、酒匂川水系鮎沢川、1972 年 8 月 28 日、田代道彌採集；KPM-NI 6499: 1 個体、76.1 mm SL、酒匂川下流、1958 年 6 月 30 日、採集者不明；KPM-NI 6555: 1 個体、36.7 mm SL、酒匂川水系狩川第 2 水源地、1974 年 1 月 20 日、内田臣一採集；KPM-NI 6558: 6 個体、35.4–56.6 mm SL、相模川水系中津川支流布川支流藤熊川諸戸付近、1974 年 12 月 15 日、黒木俊郎・内田臣一採集；KPM-NI 6620: 1 個体、135.0 mm SL、伊東市、1975 年 12 月 3 日、落合勝満採集。

標本は、酒匂川水系の下流から上流、相模川水系などのもので、三保ダムが建設される以前のものも含まれており、貴重な標本といえる。本種は、生息域が減少していることから、県 RDB では絶滅危惧Ⅱ類とされている（勝呂・瀬能, 2006）。

ハゼ科 Gobiidae

35 マハゼ

Acanthogobius flavimanus (Temminck & Schlegel, 1845)

KPM-NI 6444: 1 個体、63.3 mm SL、早川新幹線上流、1972 年 8 月 8 日、田代道彌採集；KPM-NI 6445: 5 個体、51.9–70.1 mm SL、早川河口、1972 年 8 月 8 日、田代道彌採集；KPM-NI 6446: 23 個体、31.1–67.5 mm SL、中村川河口、1972 年 8 月 5 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6447: 2 個体、68.2–95.7 mm SL、中村川河口、1972 年 8 月 5 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6449: 6 個体、55.6–75.3 mm SL、早川河口、1972 年 8 月 12 日、田代道彌採集。

標本は、早川および中村川からのもので、最近では両河川からの記録はない（神奈川県環境科学センター, 2014）。

36 ボウズハゼ

Sicyopterus japonicus (Tanaka, 1909)

KPM-NI 6453: 2 個体、34.3–64.8 mm SL、早川、1972 年 8 月 8 日、田代道彌採集；KPM-NI 6458: 1 個体、72.6 mm SL、早川河口、1975 年 9 月 2 日、鈴木国松採集；KPM-NI 6494: 1 個体、88.9 mm SL、早川、1958 年 7 月 10 日、田代道彌採集；KPM-NI 6495: 1 個体、86.1 mm SL、早川、1958 年 7 月 10 日、田代道彌採集；KPM-NI 6496: 1 個体、88.3 mm SL、早川、1958 年 7 月 10 日、田代道彌採集。

37 ヌマチチブ

Tridentiger brevispinis Katsuyama, Arai & Nakamura, 1972

KPM-NI 6438: 5 個体、56.1–86.0 mm SL、早川河口、1972 年 8 月 8 日、田代道彌採集；KPM-NI 6439: 4 個体、72.2–88.9 mm SL、酒匂川常光沢（定光沢）合流地点上流、1972 年 9 月 28 日、田代道彌採集；KPM-NI 6440: 2 個体、60.7–79.6 mm SL、早川、1972 年 8 月 17 日、田代道彌採集；KPM-NI 6441: 1 個体、74.6 mm SL、酒匂川河口、1972 年 8 月 5 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6442: 1 個体、88.9 mm SL、早川河口、1972 年 8 月 8 日、田代道彌採集；KPM-NI 6450: 1 個体、100.4 mm SL、早川河口、1972 年 8 月 8 日、田代道彌採集；KPM-NI 6451: 1 個体、64.0 mm SL、酒匂川富水橋、1972 年 7 月 2 日、田代道彌採集；KPM-NI 6452: 4 個体、55.3–69.9 mm SL、早川河口、1972 年 8 月 8 日、田代道彌採集；KPM-NI 6459: 1 個体、72.8 mm SL、早川河口、1975 年 9 月 2 日、鈴木国松採集；KPM-NI 6460: 1 個体、74.9 mm SL、早川、1972 年 8 月 8 日、田代道彌採集；KPM-NI 6466: 5 個体、17.0–20.6 mm SL、早川、1972 年 8 月 8 日、田代道彌採集；KPM-NI 6467: 23 個体、13.1–19.7 mm SL、早川河口、1972 年 8 月 8 日、田代道彌採集；KPM-NI 6472: 12 個体、61.8–84.1 mm SL、酒匂川小田急線橋梁下、1972 年 9 月 28 日、田代道彌採集；KPM-NI 6474: 3 個体、57.5–88.8 mm SL、酒匂川カネボウ小田原工場前、1969 年 7 月 21 日、杉本・井上・種村・鈴木・近藤採集；KPM-NI 6563: 1 個体、70.5 mm SL、中村川河口、1974 年 9 月、石塚勝治採集；KPM-NI 6575: 5 個体、68.0–76.0 mm SL、中村川河口、1974 年 8 月、石塚勝治採集。

標本には、チチブ *Tridentiger obscurus* と記載されていたが、再同定の結果、すべてヌマチチブ *Tridentiger brevispinis* と同定された。

38 シマヨシノボリ

Rhinogobius nagoyae Jordan & Seale, 1906

KPM-NI 6462: 4 個体、42.8–58.4 mm SL、酒匂川富水橋付近、1972 年 7 月 2 日、田代道彌採集；KPM-NI 6463: 3 個体、43.1–57.6 mm SL、酒匂川常光沢（定光沢）合流地点上流、1972 年 9 月 28 日、田代道彌採集；KPM-NI 6464: 10 個体、38.9–63.7 mm SL、早川、1972 年 8 月 8 日、田代道彌採集；KPM-NI 6469: 2 個体、54.2–57.1 mm SL、酒匂川小田急線橋梁下、1972 年 9 月 28 日、田代道彌採集；KPM-NI 6480: 3 個体、43.3–57.8 mm SL、早川河口、1972 年 8 月 12 日、田代道彌採集；KPM-NI 6490: 2 個体、44.4–50.0 mm SL、早川河口、1975 年 9 月 2 日、鈴木国松採集；KPM-NI 6619: 2 個体、40.7–41.8 mm SL、中村川河口、1974 年 8 月、石塚勝治採集；KPM-NI 38515: 2 個体、48.3–50.9 mm SL、早川、1958 年 7 月 10 日、田代道彌採集；KPM-NI 38516: 1 個体、50.1 mm SL、酒匂川小田急線橋梁下、1975 年 9 月 28 日、田代道彌採集。

標本にヨシノボリ *Rhinogobius* と記載されていたものは、再同定の結果、シマヨシノボリ *Rhinogobius nagoyae*、ルリヨシノボリ *Rhinogobius* sp. CO およびオオヨシノボリ *Rhinogobius fluviatilis* の 3 種に同定された。

39 ルリヨシノボリ

Rhinogobius sp. CO

KPM-NI 6456: 5 個体、37.4-64.5 mm SL、早川、1958 年 7 月 10 日、田代道彌採集。

早川のための記録で、現在でも主に県西部から記録されている（齋藤ほか, 2012）。県 RDB では準絶滅危惧とされている（勝呂・瀬能, 2006）。

40 オオヨシノボリ

Rhinogobius fluviatilis Tanaka, 1925

KPM-NI 6461: 2 個体、60.6-72.3 mm SL、酒匂川水系狩川上山下橋上流、1972 年 9 月 12 日、田代道彌採集；KPM-NI 6585: 2 個体、13.2-13.9 mm SL、早川河口、1975 年 8 月 8 日、田代道彌。

酒匂川水系および早川から記録されており、現在でも県中央部から県西部で記録されているが（齋藤ほか, 2012）、分布地が限定されてきているため、準絶滅危惧とされている（勝呂・瀬能, 2006）。

41 スミウキゴリ

Gymnogobius petschiliensis (Rendahl, 1924)

KPM-NI 6443: 1 個体、81.4 mm SL、早川河口、1972 年 8 月 12 日、田代道彌採集；KPM-NI 6448: 4 個体、41.1-69.5 mm SL、酒匂川水系狩川酒匂川合流点上流、1972 年 7 月 14 日、田代道彌・八田洋章採集；KPM-NI 6454: 1 個体、53.9 mm SL、早川、1972 年 8 月 17 日、田代道彌採集；KPM-NI 6455: 6 個体、31.5-44.4 mm SL、早川河口、1972 年 8 月 8 日、田代道彌採集；KPM-NI 6489: 2 個体、46.9-69.8 mm SL、早川河口、1975 年 9 月 2 日、鈴木国松採集；KPM-NI 6497: 1 個体、71.7 mm SL、酒匂川、1958 年 5 月 11 日、市橋採集；KPM-NI 6501: 2 個体、80.8-89.9 mm SL、早川、1958 年 7 月 10 日、田代道彌採集；KPM-NI 6503: 6 個体、57.9-71.4 mm SL、酒匂川カネボウ小田原工場付近、1970 年 7 月 30 日、旭丘高等学校生物部採集；KPM-NI 6547: 1 個体、65.8 mm SL、狩野川水系柿田川、1970 年 10 月 10 日、武藤政信採集；KPM-NI 6564: 1 個体、71.4 mm SL、中村川河口、1974 年 9 月、石塚勝治採集；KPM-NI 6618: 1 個体、85.8 mm SL、中村川河口、1974 年 8 月、石塚勝治採集。

ウキゴリ属 *Gymnogobius* なかでは、多くの河川から記録されていたが、現在では県 RDB の準絶滅危惧とされている（勝呂・瀬能, 2006）。

42 ウキゴリ

Gymnogobius urotaenia (Hilgendorf, 1879)

KPM-NI 6502: 2 個体、58.4-83.3 mm SL、芦ノ湖湖岸、1981 年 7 月、採集者不明。

芦ノ湖のための記録で、スミウキゴリ *Gymnogobius petschiliensis* とは異なっていた。1980 年代は希少種であったが、その後は採集記録が増加している（石原, 2001）。

まとめ

強羅公園箱根自然博物館旧蔵標本は、1999 年に神奈川県立生命の星・地球博物館へ移管、登録された。淡水魚類標本の中には、酒匂川本流から採集されたと思われるスナヤツメ、県 RDB で絶滅種とされたヤリタナゴ、かつて中村川に生息していたことを示すギバチ、酒匂川右岸支流の在来と思われるミナミメダカ、生物地理学的に興味深い箱根町芦之湯のホトケドジョウなどの標本を含んでおり、貴重な標本があることから淡水魚類の目録を作成した。

それらの標本を目録化した結果、9 目 16 科 42 種（未同定種は除く）、263 点を認めた。標本は、1951 年から 1981 年に採集されたもので、県西部の河川および湖沼のものが多かった。

謝 辞

強羅公園箱根自然博物館旧蔵標本を神奈川県立生命の星・地球博物館へ移管するにあたり、強羅公園箱根自然博物館館長であった田代道彌氏、箱根登山鉄道株式会社の平沢和久氏に多くのご尽力をいただいた。また、標本の登録にあたって県立生命の星・地球博物館ボランティアの皆様にご協力をいただいた。ここに記して厚くお礼を申し上げる。

引用文献

- 石原龍雄, 2001. 小田原の淡水魚類. 小田原市編, 小田原市史 別編 自然, pp.321-329. 小田原市, 小田原.
- 石原龍雄・橋川宗彦・栗本和彦・上妻信夫, 1986. 箱根の魚類 - エビ・カニ・貝類 -. 259+11pp. 神奈川新聞社, 横浜.
- 神奈川県環境科学センター, 2014. 神奈川県内河川の魚類. 137pp.
- 橋川宗彦, 1995. 芦ノ湖の魚と漁業の歴史. かながわの自然, (57): 25-27.
- 黒崎陽一, 1982. 酒匂川水系の魚類. 神奈川自然保全研究会報告書, (2): 37-44.
- Mabuchi, K., H. Senou & M. Nishida, 2008. Mitochondrial DNA analysis reveals cryptic large-scale invasion of non-native genotypes of common carp *Cyprinus carpio* in Japan. *Molecular Ecology*, 17: 796-809.
- Mabuchi, K., H. Senou, T. Suzuki & M. Nishida, 2005. Discovery of an ancient lineage of *Cyprinus carpio* from Lake Biwa, central Japan, based on mtDNA sequence data, with reference to possible multiple of koi. *Journal of Fish Biology*, 66: 1516-1528.
- 中島 淳・洲澤 譲・清水孝昭・斉藤憲治, 2012. 日本産シマドジョウ属魚類の標準和名の提唱. 魚類学雑誌, 59 (1): 86-95.
- 中坊徹次編, 2013. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版 I, II, III. L+864pp., xxxii+865-1747pp.,

- xvi+1751-2428pp., 東海大学出版会, 東京.
- 中坊徹次・甲斐嘉晃, 2013. ヤツメウナギ科. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版Ⅲ, pp.1753-1755, 東海大学出版会, 東京.
- 沖山宗雄編, 2014. 日本産稚魚図鑑 第二版Ⅰ, Ⅱ. Li+976pp.,xiii+977-1639pp., 東海大学出版会, 東京.
- 大島正満, 1957. 桜鱒と琵琶鱒. 79pp. 楡書房, 札幌. (1981 再録. 淡水魚別冊大島正満サケ科魚類論集, pp.160-213, 淡水魚保護協会, 大阪.)
- 齋藤和久, 2005. 酒匂川水系支川の魚類. 神奈川自然誌資料, (26): 87-94.
- 齋藤和久・金子裕明・勝呂尚之・大竹哲男, 2012. 神奈川県内河川におけるヨシノボリ属魚類の分布. 神奈川自然誌資料, (33): 85-93.
- 斉藤裕也, 1982. 酒匂川・箱根周辺のヤマメとアマゴ - 外見的区別の結果 -. 淡水魚増刊ヤマメ・アマゴ特集, pp.84-87. 淡水魚保護協会, 大阪.
- 瀬能 宏, 2003. メダカ - 安易な放流が自然史を汚す. 高桑正敏・広谷浩子・佐藤武宏・中村一恵編, 侵略とかく乱のはてに - 移入生物問題を考える -, pp.96-103. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 瀬能 宏, 2008. ブルーギル. 瀬能 宏・松沢陽士編, 日本の外来魚ガイド, pp.80-87. 文一総合出版, 東京.
- 瀬能 宏, 2013. メダカ科. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版Ⅲ, pp.1923-1927, 東海大学出版会, 東京.
- 鈴木理文, 1991. ジョルダンが見た箱根のマスとは?. *FLYFISHER*, (12): 92-93, 115-118.
- 勝呂尚之, 1996. 酒匂川で採集されたカマキリ (アユカケ) について. 神奈川自然誌資料, (17) : 45-48.
- 勝呂尚之・瀬能 宏, 2006. 汽水・淡水魚類. 高桑正敏・勝山輝男・木場英久編, 神奈川県レッドデータ生物調査報告書, pp. 275-298. 神奈川県立生命の星・地球博物館.
- 田代道彌・八田洋章, 1974. 小田原市中村川およびその付近の魚類. 小田原市郷土文化館研究報告, (10) : 24-33.
- 塚本勝巳・青山 潤・渡邊 俊, 2010. 新標準和名「ニホンウナギ」の提案. 魚類学雑誌, 57 (2) : 184-185.